



01 独特のセンターダクトやルーバーに塗り分けで、圧倒的な存在感を演出。02 個性的なフロントに対し、シンプルでフラットなポリウムを考案するリア。03 カールエンドの美しいオーバルテールを使ったマフラー。04 スタイルと実用性を兼ね備えたサイドテーブルは、エアロテックジャパンが得意とするアイテム。05 RANDOのロゴが追加されたフロアマット。インテリアの質感と高級感を高める。06 セプリングのITCスパルタンは、ブラックフェイスサイドシルバーモデル。

■PARTS LIST

フロントバンパーボイラー (NET付)	5万400円
サイドステップボイラー	4万6000円
リアバンパーボイラー	4万6000円
上記3点セット	13万9450円
フロントグリル (NET付)	2万9400円
上記4点セット	15万8450円
アライン	1万500円
フォグランプキット (リレー付)	3万1900円
LEDテールランプキット	2万9400円

ホイール/レイズ・セプリングITC Spartan FR 16X5.5+45
ブラックフェイス/サイドシルバー

問：エアロテックジャパン TEL：072-838-7744 <http://www.aero-tech.co.jp/>



PHOTO：ボウリス

ホイールのレイズやタイヤのダンロップ、ブレーキシステムのディスクセル、ボディキットはエアロテックジャパンと、4メーカーのコラボレーションにより誕生したランド流LUX。本場アメリカのラグジュアリースタイルを余すところなく導入。高級感に、パッドなフェイスを盛り込んだ、新たなラグジュアリースタイルを提案している。左右のフォグランプを繋げるようなフラックでの塗り分けが印象的なフロントは、独特のセンターダクト形状やルーバーがアイポイント。さらにしっかりとポリウムが与えられたアンダーのリップに加え、極太のフレームに3本のスリットを使ったワリルも、フロントマスクの存在感を主張する上で欠かせないアイテムとなっている。これら個性を打ち出したフロントに対し、サイドステップやリアスポイラーは、フラットな面を効かせたシンプルなスタイル。決して派手さはないが、どっしりと安定感あるフォルムを作り出している。



最新のカスタムテクニックを取り入れ、フロントスポイラーやドアパネル、ホイールにブラックを使い、より存在感を打ち出しているのも見逃せないポイント。

い、インテリアの高級感を一気に高めることに成功している。現在最も人気のスタイルとなっているラグジュアリーメイク。しかしシンプルだけではなく、独自の主張をしっかりと盛り込み、高級感だけではない圧倒的な存在感を打ち出すランド流LUX。ラグジュアリーの新なる革命児となること間違いなしだ。

WAGON-R [MH] RandoRyu LUX ランドリュ ラグジー Version 4メーカーのコラボで生まれたランド流LUX ラグジースタイルに新たな旋風を巻き起こす



01 大きく張り出したフロントアンダーが、存在感たっぷりのフロントマスクを演出。中央にはハイブリッド車特有の冷却ダクトを追加。02 さらびないサイズでデザインされたリアアンダーには、ディフューザー風のラインも追加される。03 ブラッククロームのAXスーパーグリフオニ-X77mは、19インチを装着。04 ショープなアラインは、グリルからボンネットやフェンダーへとスムーズな繋がり感をも演出。

■PARTS LIST

フロントハーフボイラー	2万9400円
純正色ペイント済み	4万2000円
リアハーフボイラー	2万9400円
純正色ペイント済み	4万2000円
アライン	1万500円
純正色ペイント済み	1万3650円
乱入流-RandoRyu LUX DASH TABLE	1万5540円~2万7900円
乱入流 SIDE TABLE	1万3440円~1万76590円
3COLOR LED ROOM LAMP	9990円 (1セット)
RANDO Style フロアマット VELOUR	7万1400円

ホイール/AXスーパーグリフオニ-X77m (Yaou Black) F:19X8.0+45 (Face-1)
R:19X8.0+30 (Face-2)

車高調/RS-R SUPER Best4
タイヤ/ダンロップ-LM703
ブレーキ/ディスクセル-M-TYPE PAD
シートカバー/クラフツィオ-LUXURY (ブラック)

225/40-19



PHOTO：ボウリス

まだまだ勢いの収まる気配が感じられないがソリッド価格の高騰。ドレスアップ費用やイベント参加代など、何かとお金の必要なドレスアップには、頭の痛い問題。そんな中、ワールドワイドで懸念される環境問題とともに再び注目を集めているのが、モーターとガソリンエンジンの2つの動力を併せ持つハイブリッド車。初のハイブリッド車として登場したプリウスはもちろん、ユーティリティに優れたエスティマ・ハイブリッドも、今後さらにその人気が高まること間違いなしと言える。



完成度の高いエスティマの純正ラインを崩すことなく、前後アンダーに造り込んだポリウムを追加。シンプルながらユーロ感たっぷりのスポーツスタイルを演出。

スポイラー中央にはダクトを備え、ハイブリッド車ならではの冷却効率をさらに追求。かっこいいエアロフォルムと実用性を、見事に両立している。クルマを取り巻く環境がさらに厳しくなる世の中。環境に優しいハイブリッド車を、自分流にアレンジ。そんなドレスアップの未来の姿を感じられずにはいられない。

ESTIMA HYBRID [AHR20W] RandoRyu LUX ランドスタイル

ハイブリッドユーザー待望の新作エアロは
ユーロ感を追求したシンプルスポーツ

問：エアロテックジャパン TEL：072-838-7744 <http://www.aero-tech.co.jp/>